

徳島県における 小学生サッカー選手の障害の実態

～メディカルチェックの結果より～

徳島大学病院整形外科

徳島県立中央病院整形外科

徳島病院整形外科

鈴江直人、松浦哲也

岩目敏幸

岩瀬毅信

骨 vs 軟部組織

- おとな：骨 > 軟部組織
- 子ども：骨（骨化完了前） < 軟部組織



スポーツ活動による力学的ストレス

こどもは骨軟骨に障害を来しやすい

そこでメディカルチェック



- 1984年～
- 小学生サッカー選手を対象
- 成長期骨軟骨障害の早期発見

目的

平成24年度のメディカルチェックの結果より、
小学生サッカー選手に発生する骨軟骨障害の
実態について報告する。

対象

県下全チームが参加する大会（第39回徳島県サッカー少年団大会・H24年8月）に出場した全選手。

アンケート調査

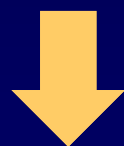
事前にアンケートを配布



現在の疼痛の有無、既往

一次検診

大会会場での診察



所見あり

二次検診

県内協力病院での精査

全て参加は自由

一次検診での調査項目

対象部位：腰部～下肢

- 腰：FFD、伸展時痛、Kempテスト、圧痛、SLRT
- 膝：可動域、圧痛、McMurray test
- 下腿：圧痛
- 足関節・足部：圧痛、ストレス痛

結果

アンケート

- 回収数：全113チーム中97チーム、1162名

($97/113 = 85.8\%$)

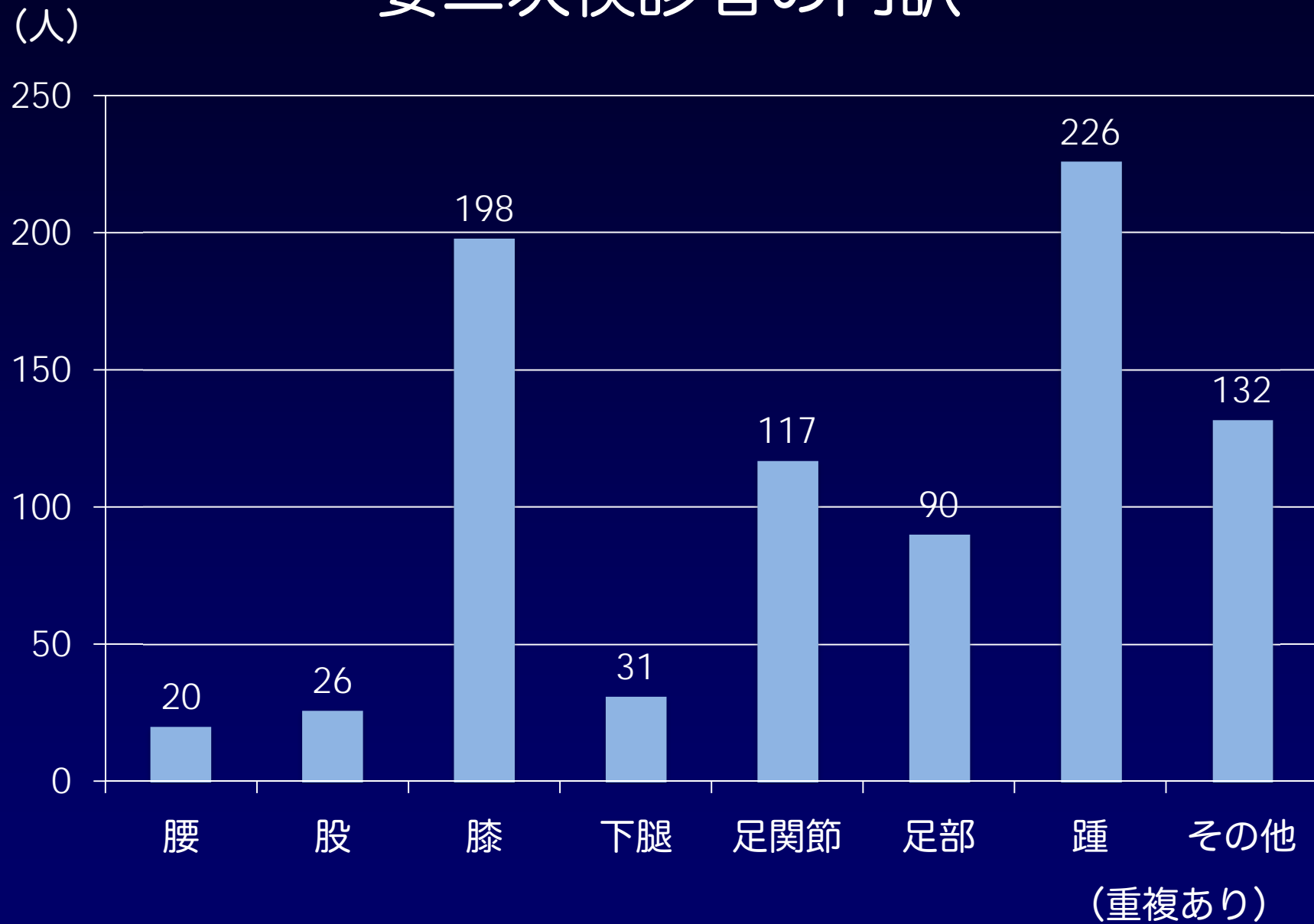
- 現在および過去に疼痛あり：547名

($547/1162 = 47.1\%$)

一次検診

- 受診チーム、受診者数：
全113チーム中77チーム、494名
($77/113 = 68.1\%$)
- 要二次検診者数：394名
($394/494 = 79.8\%$)

要二次検診者の内訳



二次検診

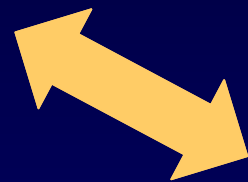
- 受診者数：106名
($106/394 = 26.9\%$)
- 骨軟骨障害と診断された選手：80名
($80/106 = 75.5\%$)

シーバー病	49	足関節内顆障害	1
オスグッド病	13	恥骨結合障害	1
有痛性分裂膝蓋骨	12	Van Neck病	1
ラルセン病	10	第1趾種子骨障害	1
腰椎分離症	3	膝離断性骨軟骨炎	1
有痛性外脛骨	3		

(重複あり)

考察

一次検診受診率
68.1%



二次検診受診率
26.9%

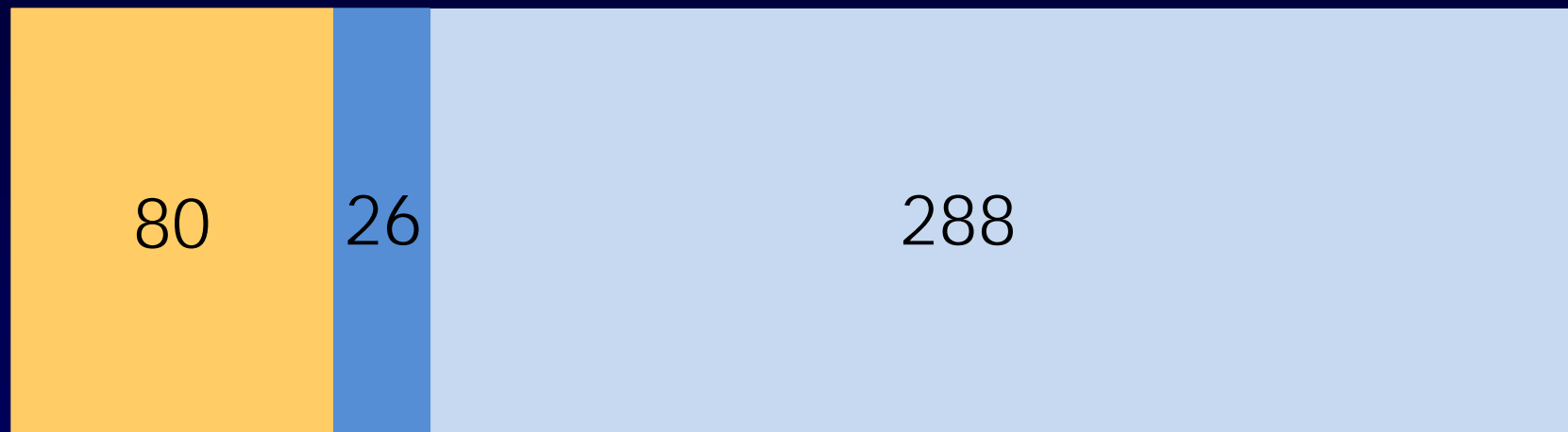
なぜ？

- 費用がかかる
 - 一次検診：無料
 - 二次検診：保険診療
- 受診する時間的余裕がない
- 病院で「休め」と言われるのがイヤ
- 大会が終わって疼痛が軽減、消失

要二次検診者

二次検診受診

二次検診受診せず



骨軟骨障害
あり

なし

骨軟骨障害が発生している可能性大！

課題

二次検診受診率の向上